



吉田地区 住民自治協議会だより

52号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義

編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会

事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの2階

TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371

第49回 吉田びんずる 第17回 何丸踊り

公民館委員会

梅雨明け直後の週末となった7月20日から21日にかけて、吉田ふるさと夏まつりが開催されました。公民館委員会では例年通り「吉田びんずる・何丸踊り」の企画と運営を担当いたしました。

参加連は町連16に金融団連と東部中学校連の合計18連、総勢1,269名の皆さんが参加してくださいました。

このほか、多くの方々が観にきてくださり、とても賑やかな夏まつりでした。

子どもたちの大きなかけ声に元気をもらい、お母さんたちがしつかり踊っている姿に感動し、年配者の方がたくさん参加して子どもたちとともに頑張っているのを見てほのぼのとした気持ちになりました。

昼の暑いさなかから準備して、終了後の片付けまでご苦労いただいた役員さん、とりわけ各町から選出された主事の皆さんと、校長先生などの審査員の皆さん、参加いただいたすべての皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。



7月20日(土) 吉田びんずる・何丸踊り



福祉委員会

福祉委員会では、6月13日（木）に吉田公民館大教室において、福祉に係る行政、関係機関による学習会を開催しました。

これは、福祉に係る活動はコロナ禍の中、実質的には4年間何もしていない状況が続く、長く地域福祉会長の職にある方は、行政連絡区の中での地域福祉懇談会やサロン事業等を、どのように、どうして実施しなければならぬかわかっていても、毎年代わられる地域福祉会長さんはじめ福祉推進員の方などは、全く分からないことから、少しでも地域福祉活動のために、行政関係機関と連携していく必要を理解していただくために実施したものです。

当日は、福祉委員会委員、関係協議委員会、行政連絡区長、各区地域福祉会委員、各区福祉推進員の方々に参加いただき、長野市社会福祉協議会地域福祉課からは、地域福祉とは？特にサロン事業や地域福祉懇談会について、市福祉政策課からは、地域福祉ワーカーの役割について、市地域包括ケア推進課からは、生活支援体制整備と生活支援コーディネーターの役割について、長野市社協地域包括支援センター吉田からは、地域包括支援センターの役割について、各機関から説明いただき、理解を深めていただいたところです。

その後、情報共有のため、アンケートに記入いただいて、行政関係機関とともに当該アンケートの内容を共有したところです。

アンケートではいろいろな感想がありました。多くは学習会によってすべてが分かったわけではないが、知識

は広くなって良かったとの声でした。各区の地域福祉会是一律ではありません。

住民の数の違いや役員の構成、民生委員や副区長が地域福祉会長を務めている区、一年で会長も交代する区、区長、民生委員、公民館長、和楽会長が構成メンバーになっている区、地域福祉会長一人の区と様々ですが、地域福祉の推進は行政連絡区の地域福祉会が中心であり、その区にできることを無理せず進めていくことが大事であり、そのため行政関係機関が連携していくということが少しでも理解いただけたのではないのでしょうか。

吉田地区には、第三次地域福祉活動計画があり、基本理念を「人の和と地域の輪もて 我が吉田」としており、多くが福祉委員会を実施者として位置付けていますが、この大きな活動については、住自協全体を導きその活動を見守る常任評議委員会が主体であり、そこに属する常任評議委員会Ⅱ区長十部会長であることから、本年度については、多くの活動において区長の参加と理解を仰いでいるところです。

住民のみなさんにつきましては、各区のサロンや健康体操、保健委員会の健康講座、福祉委員会の出前講座に積極的に参加されますようお願いいたします。



保健委員会

保健委員会主催の第一回の運動講習会「タオルを使ってストレッチ」が、6月12日（水）に吉田公民館の多目的ホールで開催されました。

今年も例年同様に、健康運動指導士の清水由佳先生に講師をお願いして、楽しい時間を過ごすことができました。

今年は、年間スケジュールのお知らせを、回覧で実施日が忘れてしまう事がないように、吉田地区の全戸配布としたことにより、この日は50名を超す方々に参加いただき大変うれしく思いました。



また、事前申し込み不要で、吉田地区内の方なら誰でも、参加いただけるようにしたことも良かったかと思えます。当日は、各自持参したタオルを使って椅子に着座したまま出来るストレッチや、グループになって行うゲーム感覚のストレッチなどを組み込んでいただいたことにより、身体の柔軟だけでなく、皆さんの表情もほぐれ笑い声がホールに響きました。

第二回運動講習会「ボールを使って

健康体操」が、7月10日（水）吉田公民館大教室で開催されました。

当日は、椅子に着座のまま行うタオルを使ったストレッチ、続いて4人グループを作りボールを使用した、しりとりをしながらのドリブル回し、最後は着座のまま4人の脳トレラインダンス風ストレッチを教えていただきました。

二回目ということもあり、リラックスした時間を過ごすことが出来ました。

健康講座は、日常生活の隙間時間や就寝前に取り入れられるストレッチばかりです。



これも、これからも健やかな日々を送れますよう、次のとおり充実した内容の講座を予定していますので、奮ってご参加ください。お待ちしております。

9月11日（水）『やさしい筋力トレーニング』多目的ホール

10月9日（水）『ヨガでリラックス』多目的ホール

11月13日（水）『タオルを使ってストレッチ』多目的ホール

12月11日（水）『やさしい筋力トレーニング』多目的ホール

R7・1月8日（水）『ボールを使って健康体操』大教室

環境美化部会

7月25日(木)の視察研修を通じて、環境エネルギーセンターと資源再生センターが、将来にわたって人間社会や地球環境が健全な状態を維持するために果たす役割の重要性を実感しました。特に、処理工程(ゴミ収集、選別、破碎等)においてライントラブルが発生しないようにするためには、適切な分別によるゴミ出しが重要です。この点について、「長野市家庭用資源物・ごみ収集カレンダー」に沿って区民の皆様に協力を呼びかけ、説明したいと考えております。また、各家庭内において、特に高齢者世帯が増える中でのごみ分別の難しさや、ゴミ出しそのものが困難になるという課題に対して、地域全体で支援し合う仕組みづくりが重要だと感じました。日常生活において資源の有効活用と廃棄物の削減に努めるとともに、周囲の人々と協力しながら持続可能な未来を目指していきたいと考えています。これから、地域社会全体で環境保護に取り組み、一人ひとりが意識を持って行動することで、より良い未来環境を築いていけたら幸いです。



資源再生センター



環境エネルギーセンター



編集後記

梅雨明け宣言も発表され、七月二十日(土)・二十一日(日)には「二〇二四吉田ふるさと夏まつり」が実施され、暑い夏の日の楽しむことが出来ました。子供達にとっても良い思い出になればと思います。

本号は、公民館委員会の夏まつりをはじめ、各委員会での活動状況について掲載しました。今後、吉田町町民大運動会等、各委員会での事業が行われます。皆様のご参加により吉田の人と地域の輪をつくるきっかけにしたいと思います。

台風シーズンでもあります。日頃の備えを大切にし、健康にも留意し毎日を過ごしましょう。

(編集委員会一同)

◆お知らせ◆

10月6日(日)

第98回吉田町町民大運動会

吉田小学校

10月19日(土)

福祉健康フェスタ

ノルテナがの多目的ホール

10月26日(土)

第37回吉田町青少年健全育成住民の集い

ノルテナがの多目的ホール

11月7日(木)

第24回人権を認め合う住民の集い

東部中学校

11月10日(日)

第38回吉田町文化祭

吉田公民館

11月10日(日)

吉田こどもオータムフェスタ

吉田小学校